

一般科目

全コース共通

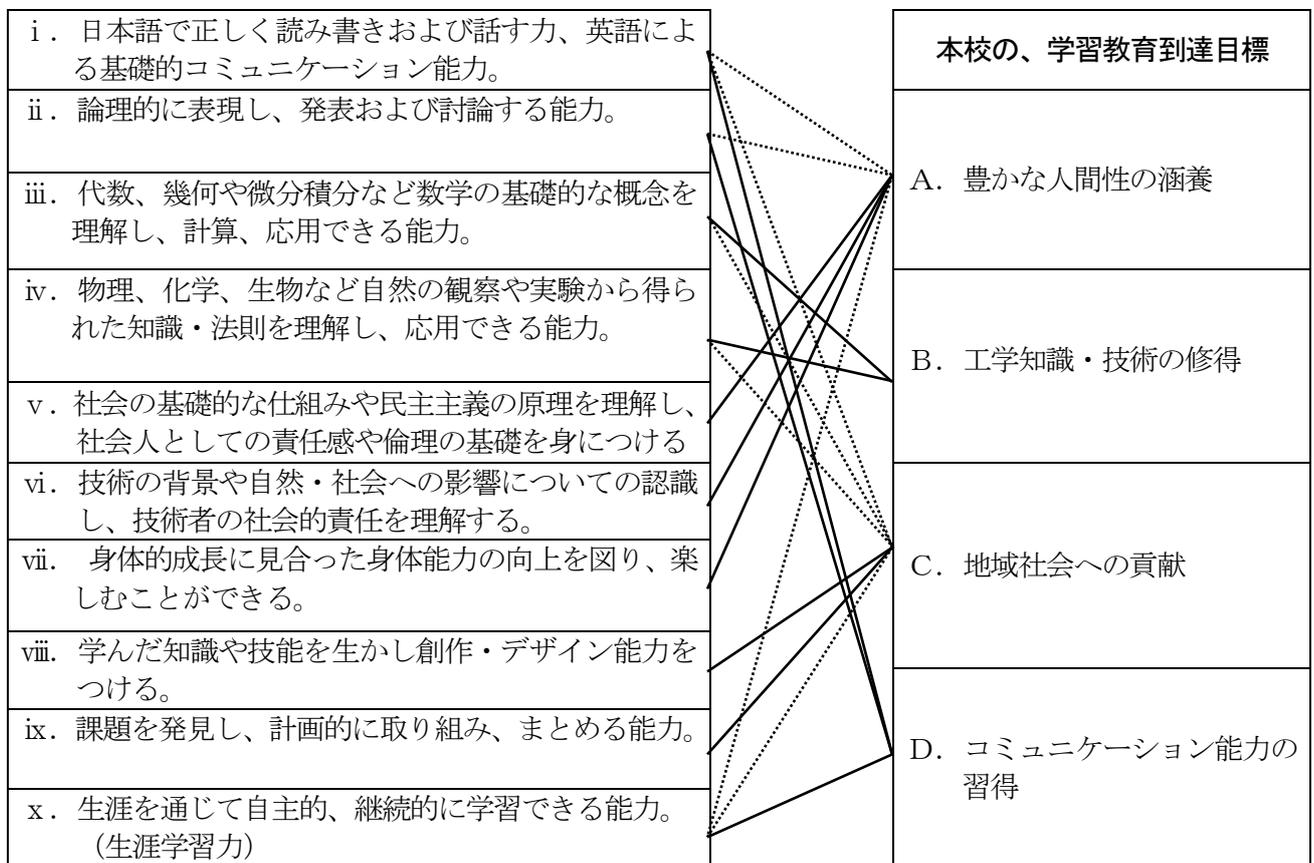
一般科目の学習・教育到達目標と教育課程

○ 教育目的

一般科目においては15歳から20歳という人間の発達過程のたいへん変化に富む時期に、健全で豊かな人間形成を行い、生涯の発達の基礎的な力を形成することが目的である。その具体的な内容は次の学習・教育到達目標に示されている。

○ 一般科目の学習・教育到達目標

下の表が学習・教育到達目標の内容を表しており、線の連結で右側の八戸高専の学習・教育到達目標とのつながりを示している。



○ カリキュラムの編成方針

カリキュラムの編成方針は以下の通りです。各項目で、一般科目の学習・教育到達目標との関係を示しています。なお、科目の学年配置と科目間のつながりはカリキュラム表、科目関連図及びカリキュラムの流れ図に示しています。

- 1) 低学年の基礎科目の充実：普通高校と異なり、専門科目が低学年からくさび形に入ってくるが、高校段階相当の基礎的な科目は十分な時間の確保と充実を図っている。
→教育到達目標全体（i～x）の実現

- 2) 理系科目： 一般科目における数学や物理、化学など専門工学の基礎になる科目は、高学年で応用数学、応用物理等に発展できるためにも低学年で十分に時間を保証している。
→教育到達目標 iii, iv, x の実現
- 3) 語学系科目： 継続性と一貫性を重視し、全学年にまたがる学年配当によって基礎的能力とくにコミュニケーション能力の向上をめざしている。さらに、第1学年から第3学年までの英語科目に関しては、その間に学生が習得すべき文法項目を段階的に配列したものを下記「英語科目到達目標別表1～3」として設定している。
→教育到達目標 i, ii, ix, x の実現
- 4) 教養選択科目： 大学教養段階の内容もある程度まで幅広く取り入れ、選択できるように開講している。
→教育到達目標全体 (i～x) の実現

○ 教育方法

次の方法で教育を実施します。各項目で、一般科目の学習・教育到達目標との関係を示しています。

- 1) 教員・学生間に双方向的な交流のある活発な授業をめざす。
→教育到達目標全体 (i～x) と関連
- 2) 情報機器を活用し、視聴覚的にも捉えやすい授業を行う。
→教育到達目標 (i～iv), (viii～x) と関連
- 3) 演習、実験・実習、実技も多く取り入れ、学生自らの体験に基づく学びを重視する。実技系では、時間的な制約の中で質的内容を高めることにより目標達成に努力する
→教育到達目標全体 (i～x) と関連
- 4) 履修学年、履修レベルに応じた親身できめ細かい学習指導を行う（オフィスアワー、補習、補充試験等）。
→教育到達目標全体 (i～x) と関連

「英語科目到達目標別表」

<別表1 (主に第1学年) >

1	辞書利用法
2	発音記号
3	品詞の区別
4	文の要素
5	文型
6	句と節 (名詞節・形容詞節・副詞節の区別)
7	文の種類 (単文・重文・複文の区別)
8	単純時制 (現在・過去・未来)
9	進行形 (現在・過去・未来)
10	受動態
11	完了形 (現在・過去)
12	不定詞の用法 (名詞的・形容詞的・副詞的)

13	動名詞の用法
14	分詞の用法（現在・過去／限定的・述定的）
15	関係詞の制限用法（代名詞・副詞／格変化）
16	間接疑問文
17	比較表現（同等・比較級・最上級）
18	形式主語構文
19	知覚動詞構文
20	使役動詞構文

<別表 2（主に第 2 学年）>

1	完了形（未来）
2	完了進行形
3	分詞構文
4	関係詞の非制限用法（代名詞・副詞）
5	仮定法（過去）
6	時制の一致（大過去・助動詞+have+過去分詞）
7	形式目的語構文
8	強調構文
9	部分否定
10	同格表現

<別表 3（主に第 3 学年）>

1	分詞構文（受動態・完了形）
2	仮定法（過去完了）
3	複合関係詞（代名詞・副詞）
4	話法（直接話法・間接話法・話法の転換）
5	倒置表現
6	省略表現

一般科目 担当教員名簿

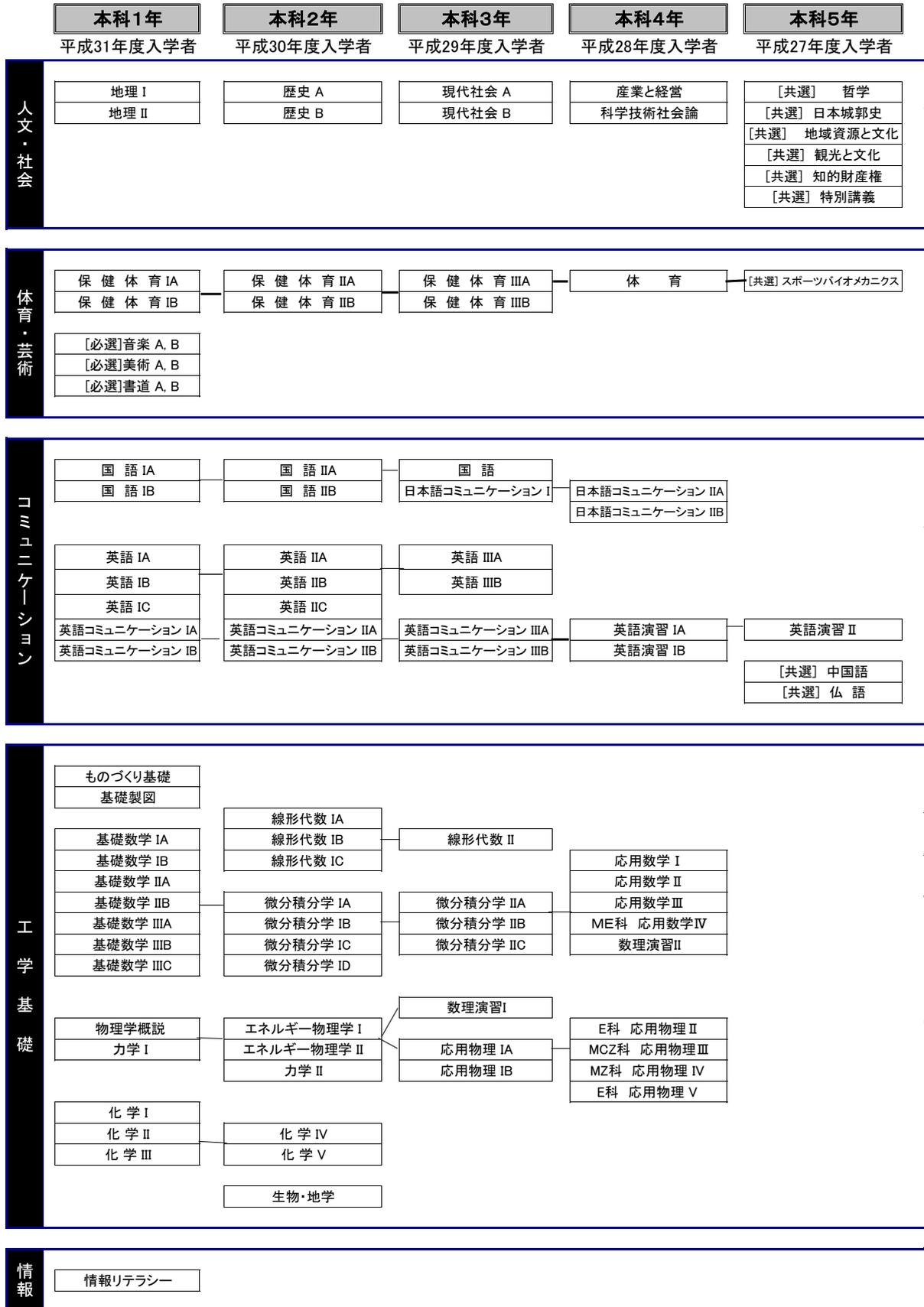
教員所属：(G) 総合科学教育科

	(所属) 職名	氏名	担当科目	連絡先	
				研究室 (ダイヤルイン)	メールアドレス @hachinohe-ct.ac.jp
国語	(G) 教授	戸田山みどり	英語、日本語コミュニケーション	ゼミナール棟3階 (27-7260)	midori-g
	(G) 准教授	齋 麻子	国語、日本語コミュニケーション、地域資源と文化	講義棟4階 (27-7258)	sai-g
社会	(G) 嘱託教授	平川 武彦	現代社会、産業と経営、科学技術社会論、人間科学、技術者倫理	図書館2階 (27-7339)	hirakawa-g
	(G) 教授	河村 信治	地理、生物・地学、科学技術社会論、エンジニアリングデザイン、卒業研究	講義棟4階 (27-7240)	kawamura-g
	(G) 教授	高橋 要	英語コミュニケーション、英語演習、哲学	ゼミナール棟3階 (27-7254)	kaname-g
	(G) 助教	中村 泰朗	歴史、産業と経営、日本城郭史、卒業研究	ゼミナール棟2階 (27-7246)	nakamurayas-g
数学	(G) 嘱託教授	鳴海 哲雄	線形代数、微分積分学	図書館2階 (27-7339)	narumite-g
	(G) 准教授	馬淵 雅生	基礎数学、微分積分学、数理演習 II、応用数学	講義棟4階 (27-7257)	mabuchi-g
	(G) 准教授	馬場 秋雄	基礎数学、微分積分学、線形代数、応用数学	ゼミナール棟2階 (27-7247)	baba-g
	(G) 准教授	吉田 雅昭	基礎数学、微分積分学、線形代数、応用数学	ゼミナール棟2階 (27-7277)	yoshida-g
	(G) 助教	若狭 尊裕	基礎数学、微分積分学、数理演習 II	講義棟4階 (27-7242)	wakasa-g
	(G) 助教	和田 和幸	基礎数学、微分積分学、数理演習 II、数理情報	ゼミナール棟3階 (27-7252)	wada-g
情報	(E) 准教授	佐藤 健	情報リテラシー	図書館2階 (27-7317)	satok-e
物理	(G) 教授	中村 美道	物理学概説、力学、物理、応用物理、数理演習 I、原子力工学概論	講義棟4階 (27-7249)	nakamura-g
	(G) 准教授	丹羽 隆裕	物理学概説、力学、物理、数理演習 I	講義棟4階 (27-7261)	niwa-g
	(G) 准教授	水野俊太郎	応用物理	ゼミナール棟2階 (27-7279)	mizuno-g
化学	(G) 教授	菊地 康昭	化学、物質工学セミナー、創成化学、文献講読、卒業研究	講義棟4階 (27-7241)	kikumal-c
保健体育	(G) 准教授	蝦名 謙一	保健体育、体育	ゼミナール棟1階 (27-7256)	ebina-g
	(G) 助教	川端 良介	保健体育、スポーツバイオメカニクス	第1体育館 (27-7251)	kawabata-g
外国語	(G) 教授	戸田山みどり	英語、日本語コミュニケーション	ゼミナール棟3階 (27-7260)	midori-g
	(G) 教授	阿部 恵	英語コミュニケーション、英語演習	講義棟4階 (27-7245)	abe-g
	(G) 教授	横田 実代	英語コミュニケーション、英語演習	講義棟4階 (27-7248)	yokota-g
	(G) 准教授	菊池 秋夫	英語、英語演習	講義棟4階 (27-7250)	akikuchi-g

非常勤講師

Matthew Thomas	英語コミュニケーション、実用英語	海野 かおり	国語、日本語コミュニケーション
野田 欣一	英語	野里 紀子	書道
齋藤 育夫	英語	小川 芳勇樹	美術
蒔苗 博子	基礎数学	坂本 利枝子	音楽
田端 健	物理、化学	小林 徳子	フランス語、英語
大黒 亜紗子	フランス語	松本 利彦	化学
佐々木 裕	微分積分学、線形代数	米田 巧	書道、国語
林 雁青	中国語	福地 進	数学、物理
中村 蘭	中国語	馬場 亜紀子	日本語

本科 一般科目(工学基礎・応数・応物含む) カリキュラム(平成31年度開講科目)の流れ図



[必選] は選択必修科目
[共選] は共通選択科目

一般科目・共通科目(H30年度以降入学生)

		本科				
		本科1年	本科2年	本科3年	本科4年	本科5年
CP1	国語(◎)	国語(◎)	国語(◎) コミュニケーション(O)	コミュニケーション(O)		
	地理(◎)	歴史(◎)	現代社会(◎)	産業と経営(◎) 科学技術社会論(◎)	人文社会[共選](◎) 知的財産権[共選](◎) スポーツバイオメカニクス(◎) 特別講義[自選](◎)	
	保健体育(◎)	保健体育(◎)	保健体育(◎)	体育(◎)		
	芸術(◎)					
	ものづくり基礎(O)					
			日本語[留学生対象](O) 日本事情[留学生対象](O)	日本語[留学生対象](O)		
CP2	基礎数学(◎)	微分積分学(◎) 線形代数(◎)	微分積分学(◎) 線形代数(◎)	数理演習(◎)		
	集中数物演習(◎)	集中数物演習(◎)	集中数物演習(◎)	集中数学演習[選](◎)		
	物理学概説(◎) 力学(◎)	エネルギー物理学(◎) 力学(◎)				
	化学(◎)	化学(◎)				
		生物(◎)				
	情報リテラシー(◎)					
CP3	ものづくり基礎(◎)		数理演習(◎)		知的財産権[共選](O) 品質・生産管理(◎) 原子力基盤技術概論(O)	
CP4	基礎製図(◎)			原子力工学概論(◎) 空間デザイン(◎) 機能創成材料(◎) 数理情報(◎) エネルギー(◎) ナノテクノロジー(◎) 環境バイオ(◎) ロボティクス(◎)	特別講義[自選](◎)	
CP5				産業と経営(O) 原子力工学概論(O) 空間デザイン(O) 機能創成材料(O) 数理情報(O) エネルギー(O) ナノテクノロジー(O) 環境バイオ(O) ロボティクス(O)	医工・福祉(◎) 防災・安全(◎) 原子力基盤技術概論(◎) 特別講義[自選](◎)	
CP6	英語(◎) 英語コミュニケーション(◎) 集中英語演習(◎)	英語(◎) 英語コミュニケーション(◎) 集中英語演習(◎)	英語(◎) 英語コミュニケーション(◎) 集中英語演習(◎)	英語演習(◎)		
	国語(O)		コミュニケーション(◎) 日本語[留学生対象](◎) 日本事情[留学生対象](◎)	コミュニケーション(◎) 日本語[留学生対象](◎)	第二外国語[共選](◎)	

CP1. 技術者として必要な教養と幅広い視野を身につけるため、国語、数学、英語、理科、社会、体育、芸術などの科目を、低学年を中心に開講する。

CP2. 専門科目の基礎となる数学、自然科学の基礎知識を身につけるため、応用数学、応用物理、情報処理に関する科目を開講する。

CP3. 得意とする専門分野の知識と技術を身に付けるため、専門基礎および応用科目の講義と、実験、実習などの体験的授業を有機的に組み合わせたカリキュラムを編成する。さらに、それらを課題解決に応用する能力を育成するため、高学年において創成科目や卒業研究を開講する。

CP4. 自ら課題を発見し、自立的に探究する姿勢を身につけるため、1学年から5学年の秋学期に自主探究を実施する。またチーム内での役割を自覚し、協調性を持って仕事に取り組む姿勢を身につけるため、各種の実験・実習や創成科目、卒業研究などにおいて、協働で取り組む内容を設ける。

CP5. 地域の課題に関心を深めるため、地域志向科目を設ける。また地域の課題をテーマとする自主探究や卒業研究などを奨励する。

CP6. 討議発表力、異文化理解力を身につけるために日本語コミュニケーション、英語コミュニケーションなどの科目を開講するとともに、短期海外研修などの機会を設ける。またそれらを活用できる能力を身につけるため、全学年で自主探究のポスター発表を実施するほか卒業研究の英語発表を奨励する。

一般科目・共通科目(H29年度入学生)

		本科				
		本科1年	本科2年	本科3年	本科4年	本科5年
CP1	国語(◎)	国語(◎)	国語(◎) コミュニケーション(O)	コミュニケーション(O)		
	地理(◎)	歴史(◎)	現代社会(◎)	産業と経営(◎) 科学技術社会論(◎)	人文社会[共選](◎) 知的財産権[共選](◎) スポーツバイオメカニクス(◎) 特別講義[自選](◎)	
	保健体育(◎)	保健体育(◎)	保健体育(◎)	体育(◎)		
	芸術(◎)					
	ものづくり基礎(O)			国語総合[選](◎)	社会科総合[選](◎)	
			日本語[留学生対象](O) 日本事情[留学生対象](O)	日本語[留学生対象](O)		
CP2	基礎数学(◎)	微分積分学(◎) 線形代数(◎) 集中数物演習(◎)	微分積分学(◎) 線形代数(◎) 集中数物演習(◎)	数理演習(◎) 総合数学[選](◎)		
	物理学概説(◎) 力学(◎)	エネルギー物理学(◎) 力学(◎)				
	化学(◎)	化学(◎)				
		生物(◎)				
	情報リテラシー(◎)					
CP3	ものづくり基礎(◎)		数理演習(◎)		知的財産権[共選](O) 品質・生産管理(◎) 原子力基盤技術概論(O)	
CP4	基礎製図(◎)			原子力工学概論(◎) 空間デザイン(◎) 機能創成材料(◎) 数理情報(◎) エネルギー(◎) ナノテクノロジー(◎) 環境バイオ(◎) ロボティクス(◎)	特別講義[自選](◎)	
CP5				産業と経営(O) 原子力工学概論(O) 空間デザイン(O) 機能創成材料(O) 数理情報(O) エネルギー(O) ナノテクノロジー(O) 環境バイオ(O) ロボティクス(O)	医工・福祉(◎) 防災・安全(◎) 原子力基盤技術概論(◎) 特別講義[自選](◎)	
CP6	英語(◎) 英語コミュニケーション(◎)	英語(◎) 英語コミュニケーション(◎) 集中英語演習(◎)	英語(◎) 英語コミュニケーション(◎) 集中英語演習(◎)	英語演習(◎)	英語演習(◎)	
	国語(O)		コミュニケーション(◎) 日本語[留学生対象](◎) 日本事情[留学生対象](◎)	コミュニケーション(◎) 日本語[留学生対象](◎)	第二外国語[共選](◎)	

CP1. 技術者として必要な教養と幅広い視野を身につけるため、国語、数学、英語、理科、社会、体育、芸術などの科目を、低学年を中心に開講する。

CP2. 専門科目の基礎となる数学、自然科学の基礎知識を身につけるため、応用数学、応用物理、情報処理に関する科目を開講する。

CP3. 得意とする専門分野の知識と技術を身に付けるため、専門基礎および応用科目の講義と、実験、実習などの体験的授業を有機的に組み合わせたカリキュラムを編成する。さらに、それらを課題解決に応用する能力を育成するため、高学年において創成科目や卒業研究を開講する。

CP4. 自ら課題を発見し、自立的に探究する姿勢を身につけるため、1学年から5学年の秋学期に自主探究を実施する。またチーム内での役割を自覚し、協調性を持って仕事に取り組む姿勢を身につけるため、各種の実験・実習や創成科目、卒業研究などにおいて、協働で取り組む内容を設ける。

CP5. 地域の課題に関心を深めるため、地域志向科目を設ける。また地域の課題をテーマとする自主探究や卒業研究などを奨励する。

CP6. 討議発表力、異文化理解力を身につけるために日本語コミュニケーション、英語コミュニケーションなどの科目を開講するとともに、短期海外研修などの機会を設ける。またそれらを活用できる能力を身につけるため、全学年で自主探究のポスター発表を実施するほか卒業研究の英語発表を奨励する。

一般科目・共通科目(H28年度入学生)

		本科				
		本科1年	本科2年	本科3年	本科4年	本科5年
CP1	国語(◎)	国語(◎)	国語(◎) コミュニケーション(O)	コミュニケーション(O)		
	地理(◎)	歴史(◎)	現代社会(◎)	産業と経営(◎) 科学技術社会論(◎)	人文社会[共選](◎) 知的財産権[共選](◎) スポーツバイオメカニクス(◎) 特別講義[自選](◎)	
	保健体育(◎)	保健体育(◎)	保健体育(◎)	体育(◎)		
	芸術(◎)					
	ものづくり基礎(O)			国語総合[選](◎)	社会科総合[選](◎)	
			日本語[留学生対象](O) 日本事情[留学生対象](O)	日本語[留学生対象](O)		
CP2	基礎数学(◎)	微分積分学(◎) 線形代数(◎)	微分積分学(◎)	数理演習(◎)		
			集中数物演習(◎)	総合数学[選](◎)		
	物理学概説(◎) 力学(◎)	エネルギー物理学(◎) 力学(◎)				
	化学(◎)	化学(◎)				
		生物(◎)				
	情報リテラシー(◎)					
CP3	ものづくり基礎(◎)		数理演習(◎)		知的財産権[共選](O) 品質・生産管理(◎) 原子力基盤技術概論(O)	
CP4	基礎製図(◎)			原子力工学概論(◎) 空間デザイン(◎) 機能創成材料(◎) 数理情報(◎) エネルギー(◎) ナノテクノロジー(◎) 環境バイオ(◎) ロボティクス(◎)	特別講義[自選](◎)	
CP5				産業と経営(O)		
				原子力工学概論(O) 空間デザイン(O) 機能創成材料(O) 数理情報(O) エネルギー(O) ナノテクノロジー(O) 環境バイオ(O) ロボティクス(O)	医工・福祉(◎) 防災・安全(◎) 原子力基盤技術概論(◎) 特別講義[自選](◎)	
CP6	英語(◎) 英語コミュニケーション(◎)	英語(◎) 英語コミュニケーション(◎)	英語(◎) 英語コミュニケーション(◎) 集中英語演習(◎)	英語演習(◎)	英語演習(◎)	
	国語(O)		コミュニケーション(◎)	コミュニケーション(◎)	第二外国語[共選](◎)	
			日本語[留学生対象](◎) 日本事情[留学生対象](◎)	日本語[留学生対象](◎)		

CP1. 技術者として必要な教養と幅広い視野を身につけるため、国語、数学、英語、理科、社会、体育、芸術などの科目を、低学年を中心に開講する。

CP2. 専門科目の基礎となる数学、自然科学の基礎知識を身につけるため、応用数学、応用物理、情報処理に関する科目を開講する。

CP3. 得意とする専門分野の知識と技術を身に付けるため、専門基礎および応用科目の講義と、実験、実習などの体験的授業を有機的に組み合わせたカリキュラムを編成する。さらに、それらを課題解決に応用する能力を育成するため、高学年において創成科目や卒業研究を開講する。

CP4. 自ら課題を発見し、自立的に探究する姿勢を身につけるため、1学年から5学年の秋学期に自主探究を実施する。またチーム内での役割を自覚し、協調性を持って仕事に取り組む姿勢を身につけるため、各種の実験・実習や創成科目、卒業研究などにおいて、協働で取り組む内容を設ける。

CP5. 地域の課題に関心を深めるため、地域志向科目を設ける。また地域の課題をテーマとする自主探究や卒業研究などを奨励する。

CP6. 討議発表力、異文化理解力を身につけるために日本語コミュニケーション、英語コミュニケーションなどの科目を開講するとともに、短期海外研修などの機会を設ける。またそれらを活用できる能力を身につけるため、全学年で自主探究のポスター発表を実施するほか卒業研究の英語発表を奨励する。

一般科目・共通科目(H27年度入学生)

		本科				
		本科1年	本科2年	本科3年	本科4年	本科5年
CP1	国語(◎)	国語(◎)	国語(◎) コミュニケーション(O)	コミュニケーション(O)		
	地理(◎)	歴史(◎)	現代社会(◎)	産業と経営(◎) 科学技術社会論(◎)	人文社会[共選](◎) 知的財産権[共選](◎) スポーツバイオメカニクス(◎) 特別講義[自選](◎)	
	保健体育(◎)	保健体育(◎)	保健体育(◎)	体育(◎)		
	芸術(◎)					
	ものづくり基礎(O)			国語総合[選](◎)	社会科総合[選](◎)	
			日本語[留学生対象](O) 日本事情[留学生対象](O)	日本語[留学生対象](O)		
CP2	基礎数学(◎)	微分積分学(◎) 線形代数(◎)	微分積分学(◎) 数理解習(◎)	総合数学[選](◎)		
	物理学概説(◎) 力学(◎)	エネルギー物理学(◎) 力学(◎)				
	化学(◎)	化学(◎)				
		生物(◎)				
	情報リテラシー(◎)					
CP3	ものづくり基礎(◎)		数理解習(◎)		知的財産権[共選](O) 品質・生産管理(◎) 原子力基盤技術概論(O)	
CP4	基礎製図(◎)			原子力工学概論(◎) 空間デザイン(◎) 機能創成材料(◎) 数理情報(◎) エネルギー(◎) ナノテクノロジー(◎) 環境バイオ(◎) ロボティクス(◎)	特別講義[自選](◎)	
CP5				産業と経営(O) 原子力工学概論(O) 空間デザイン(O) 機能創成材料(O) 数理情報(O) エネルギー(O) ナノテクノロジー(O) 環境バイオ(O) ロボティクス(O)	医工・福祉(◎) 防災・安全(◎) 原子力基盤技術概論(◎) 特別講義[自選](◎)	
CP6	英語(◎) 英語コミュニケーション(◎)	英語(◎) 英語コミュニケーション(◎)	英語(◎) 英語コミュニケーション(◎)	英語演習(◎)	英語演習(◎)	
	国語(O)		コミュニケーション(◎)	コミュニケーション(◎)		
			日本語[留学生対象](◎) 日本事情[留学生対象](◎)	日本語[留学生対象](◎)	第二外国語[共選](◎)	

CP1. 技術者として必要な教養と幅広い視野を身につけるため、国語、数学、英語、理科、社会、体育、芸術などの科目を、低学年を中心に開講する。

CP2. 専門科目の基礎となる数学、自然科学の基礎知識を身につけるため、応用数学、応用物理、情報処理に関する科目を開講する。

CP3. 得意とする専門分野の知識と技術を身に付けるため、専門基礎および応用科目の講義と、実験、実習などの体験的授業を有機的に組み合わせたカリキュラムを編成する。さらに、それらを課題解決に応用する能力を育成するため、高学年において創成科目や卒業研究を開講する。

CP4. 自ら課題を発見し、自立的に探究する姿勢を身につけるため、1学年から5学年の秋学期に自主探究を実施する。またチーム内での役割を自覚し、協調性を持って仕事に取り組む姿勢を身につけるため、各種の実験・実習や創成科目、卒業研究などにおいて、協働で取り組む内容を設ける。

CP5. 地域の課題に関心を深めるため、地域志向科目を設ける。また地域の課題をテーマとする自主探究や卒業研究などを奨励する。

CP6. 討議発表力、異文化理解力を身につけるために日本語コミュニケーション、英語コミュニケーションなどの科目を開講するとともに、短期海外研修などの機会を設ける。またそれらを活用できる能力を身につけるため、全学年で自主探究のポスター発表を実施するほか卒業研究の英語発表を奨励する。

一般科目・共通科目 (H26年度入学生)

		本科				
		本科1年	本科2年	本科3年	本科4年	本科5年
CP1	国語(◎)	国語(◎)	国語(◎)			
	地理(◎)	歴史(◎)	現代社会(◎)	産業と経営(◎) 科学技術社会論(◎)	人文社会[共選](◎) 知的財産権[共選](◎) スポーツバイオメカニクス(◎) 特別講義[自選](◎)	
	保健体育(◎)	保健体育(◎)	保健体育(◎)	体育(◎)		
	芸術(◎)					
	工学基礎(○)	工学基礎(○)				
				日本語[留学生対象](○) 日本事情[留学生対象](○)	日本語[留学生対象](○)	
CP2	基礎数学(◎)	微積分学(◎) 線形代数(◎)	微積分学(◎) 数理演習(◎)			
	物理(◎)	物理(◎)				
	化学(◎)	化学(◎)				
	生物(◎)					
	情報リテラシー(◎)			原子力工学概論(◎) 応用機械工学(◎)		
CP3	工学基礎(◎)	工学基礎(◎)		応用電気情報工学(◎) 応用物質工学(◎) 応用建設環境工学(◎)	知的財産権[共選](○) 品質・生産管理(◎) 原子力基盤技術概論(○)	
CP4	芸術(○)				特別講義[自選](◎)	
CP5					医工・福祉(◎) 防災・安全(◎) 原子力基盤技術概論(◎) 特別講義[自選](◎)	
CP6	英語(◎) 英語コミュニケーション(◎)	英語(◎) 英語コミュニケーション(◎)	英語(◎) 英語コミュニケーション(◎)	英語演習(◎)	英語演習(◎)	
	国語(○) 地理(○)	国語(○)	国語(○) 日本語コミュニケーション(◎)	日本語コミュニケーション(◎)		
			日本語[留学生対象](◎) 日本事情[留学生対象](◎)	日本語[留学生対象](◎)	第二外国語[共選](◎)	

CP1. 技術者として必要な教養と幅広い視野を身につけるため、国語、数学、英語、理科、社会、体育、芸術などの科目を、低学年を中心に開講する。

CP2. 専門科目の基礎となる数学、自然科学の基礎知識を身につけるため、応用数学、応用物理、情報処理に関する科目を開講する。

CP3. 得意とする専門分野の知識と技術を身に付けるため、専門基礎および応用科目の講義と、実験、実習などの体験的授業を有機的に組み合わせたカリキュラムを編成する。さらに、それらを課題解決に応用する能力を育成するため、高学年において創成科目や卒業研究を開講する。

CP4. 自ら課題を発見し、自立的に探究する姿勢を身につけるため、1学年から5学年の秋学期に自主探究を実施する。またチーム内での役割を自覚し、協調性を持って仕事に取り組む姿勢を身につけるため、各種の実験・実習や創成科目、卒業研究などにおいて、協働で取り組む内容を設ける。

CP5. 地域の課題に関心を深めるため、地域志向科目を設ける。また地域の課題をテーマとする自主探究や卒業研究などを奨励する。

CP6. 討議発表力、異文化理解力を身につけるために日本語コミュニケーション、英語コミュニケーションなどの科目を開講するとともに、短期海外研修などの機会を設ける。またそれらを活用できる能力を身につけるため、全学年で自主探究のポスター発表を実施するほか卒業研究の英語発表を奨励する。